

令和3年度 三遠南信7号橋下部工事について

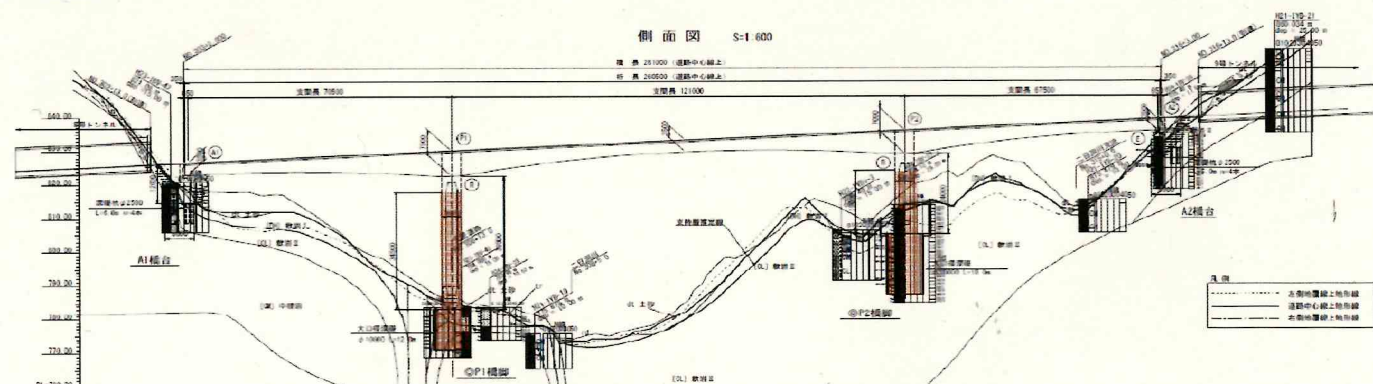
【工事概要】 三遠南信自動車道は、長野県飯田市山本の中央自動車道を起点として、静岡県浜松市北区引佐町の新東名高速道路までを結び延長約100kmの高規格幹線道路です。新東名自動車道と中央自動車道を結ぶ広域ネットワークを構築するとともに、三遠南信地域の交流促進、連携強化、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援を目的として計画された道路であり、今後地域に大きな役割を果たすことが期待されています。

本工事はこの三遠南信自動車道のうち飯嵩道路3工区の一部となる、RC3径間連続ラーメン箱桁橋の下部工を施工するものです。急峻な山岳地帯において在来工法による仮栈橋工を施工しながら、大口径深礎杭基礎による最大高さ34.5mのRC橋脚を2基構築します。

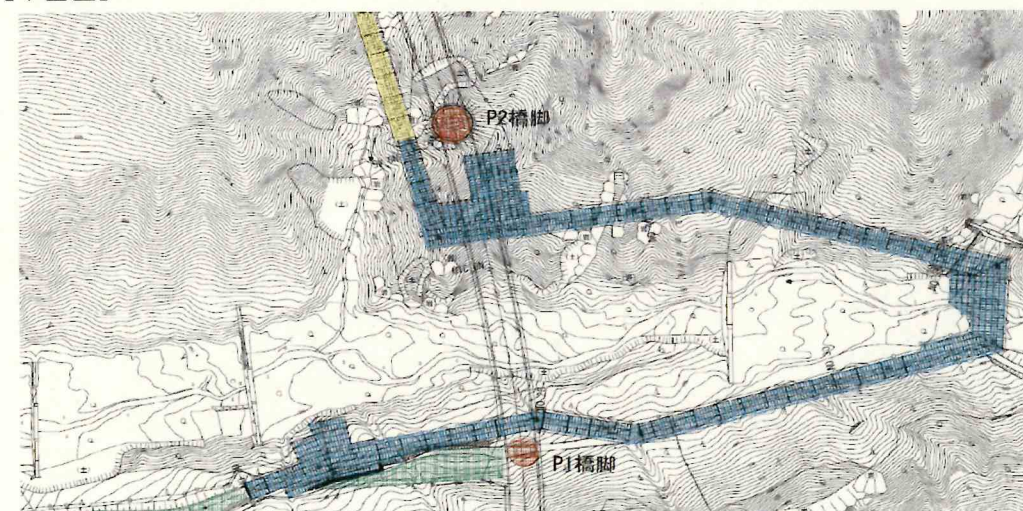
【工事名称】 令和3年度 三遠南信7号橋下部工事
 【発注者】 国土交通省 中部地方整備局 飯田国道事務所
 【工事期間】 令和3年11月24日～令和6年1月13日（契約：令和3年10月28日）
 【工事場所】 長野県下伊那郡喬木村氏乗
 【受注者】 東急建設株式会社 名古屋支店
 〒395-1104 長野県下伊那郡喬木村11020-1
 TEL 0265-49-4317 FAX 0265-49-4318
 現場代理人 鈴木 元太 監理技術者 水井 隆之

【主な工事数量】 工事延長 L=920m、道路土工 1式、RC橋脚工 1式、仮設工 1式
 壁式橋脚によるRC橋脚工 2基（P1橋脚：H=34.5m、P2橋脚：H=19.0m）
 大口径深礎工 Φ10,000（P1橋脚：L=12.0m、P2橋脚：L=18.0m）
 仮橋・仮栈橋工 延長84.0m、幅員6.0m、高さ最大36.4m（在来工法）

【側面図】

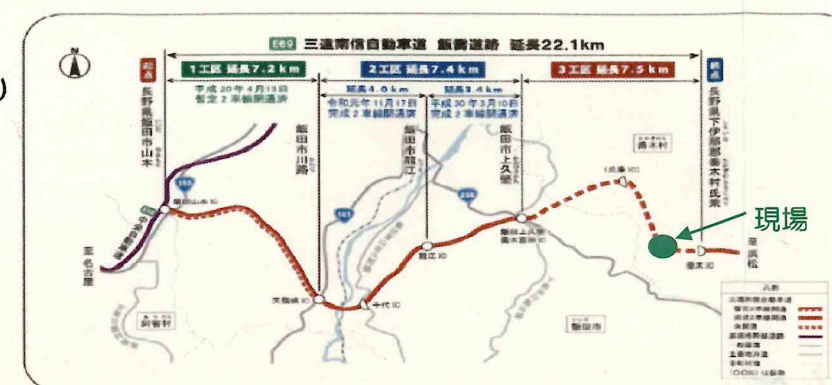


【平面図】



（凡例）
 赤：RC橋脚（今回施工）
 黄：仮栈橋（今回施工）
 青：仮栈橋（施工済み）
 緑：作業ヤード（施工済み）

【工事場所について】



【概略工程（予定）】

工種・種別等	令和3年度					令和4年度												令和5年度											
	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1		
準備・片付工																													
道路土工																													
RC橋脚工 (P1橋脚)																													
RC橋脚工 (P2橋脚)																													
仮設工																													

【現況写真】



【全景写真】



Route 474



本情報は、平成22年3月現在です。『この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の25,000分の1地形図を複製したものである。』(承認番号 平22関複 第12号)

通行不能な青崩峠を回避し、一年を通して安全で快適に地域をつなぐ新しい道。



●事業目的

一般国道474号青崩峠道路は、高規格幹線道路「三遠南信自動車道」の一部を構成し、長野県飯田市南信濃八重河内から静岡県浜松市天竜区水窪町奥領家に至る延長5.9kmの自動車専用道路です。

次の4点を主な目的として事業を推進しています。

- ①広域交流の促進、三遠南信地域の連携強化
- ②災害に強い地域間ネットワークの構築
- ③救急医療サービスの支援
- ④地域活性化の支援

●計画概要

事業名：一般国道474号 三遠南信自動車道 青崩峠道路

起 終 点：(起点)長野県飯田市南信濃八重河内
(終点)静岡県浜松市天竜区水窪町奥領家

延 長：5.9km

車線数：2車線

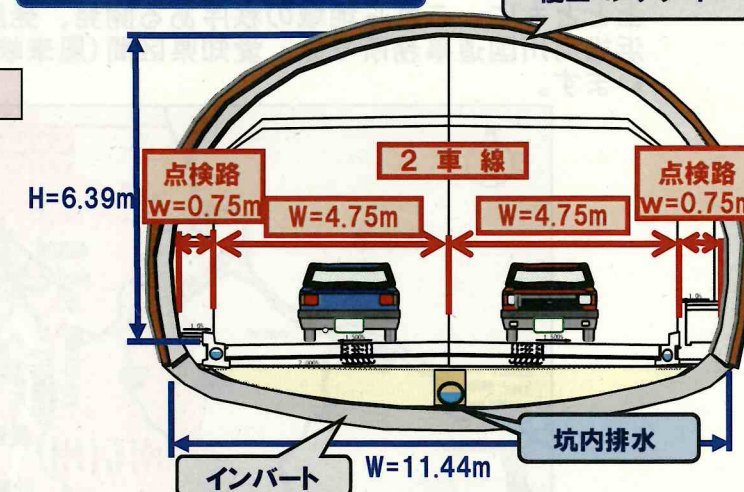
道路規格：第1種第4級

設計速度：60km/h

■ 工 期 令和3年2月16日～令和5年7月31日

■ 工事内容 掘削・覆工 839.5m インバート工 170.7m 坑門工 2基(0.6m+0.9m)

標準断面図(D I -b)



地質時代		地層名	地質	記号	記事	
第四紀	完新世	表土	礫・砂・粘土	Sf	木根・腐植土等を含む土砂	
		盛土		Br	礫混り土砂よりなる	
		河床堆積物	玉石・礫・砂	rd	現河床に沿いに分布する	
		崖堆積物	礫・粘土	dt	崩積土、礫質土よりなる	
	更新世	段丘堆積物	玉石・礫砂・粘土	tr1	現河床付近に分布し、礫混り土砂よりなる	
				tr2	現河床より比高5〜15m付近に分布し、主に砂礫からなる	
第三紀	中新世	貫入岩類	中性火山岩	Dy	暗緑色に変質した火山岩 硬質だが貫入面上で亀裂発達	
			安山岩質	An	暗青色の硬質な安山岩 貫入面に接触変質部をもつ	
		南設垂層群	鳳来湖累層	流紋岩	Hty	流理の発達した流紋岩 流理の方向に規則性はない
			下田累層	泥岩優勢層	Sms	斜面表層ではスレーンクし易い 新鮮部では暗灰色を呈する
				砂岩優勢層	Sss	泥岩優勢部に狭く分布する 泥岩部に比べ塊状硬質である
				層群	砂岩泥岩互層	Salt
			流紋岩質凝灰岩		Rytf	白色、硬質で節理が発達する

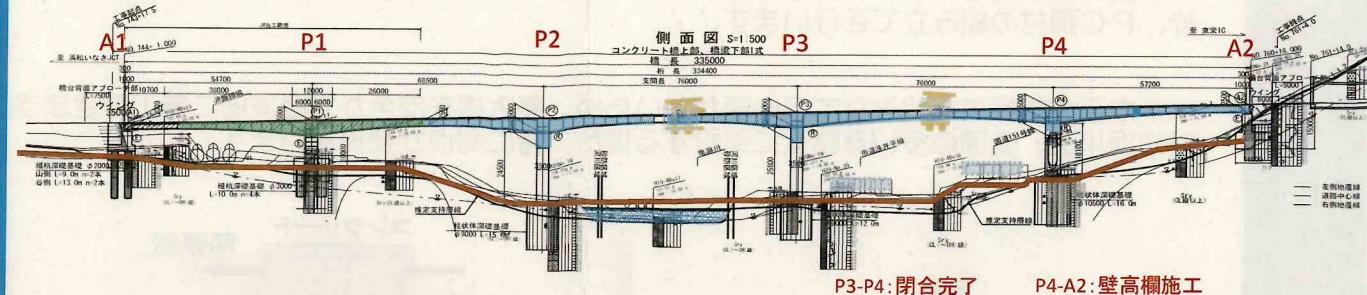
(坑門工含む)

計画工程表

[illegible]

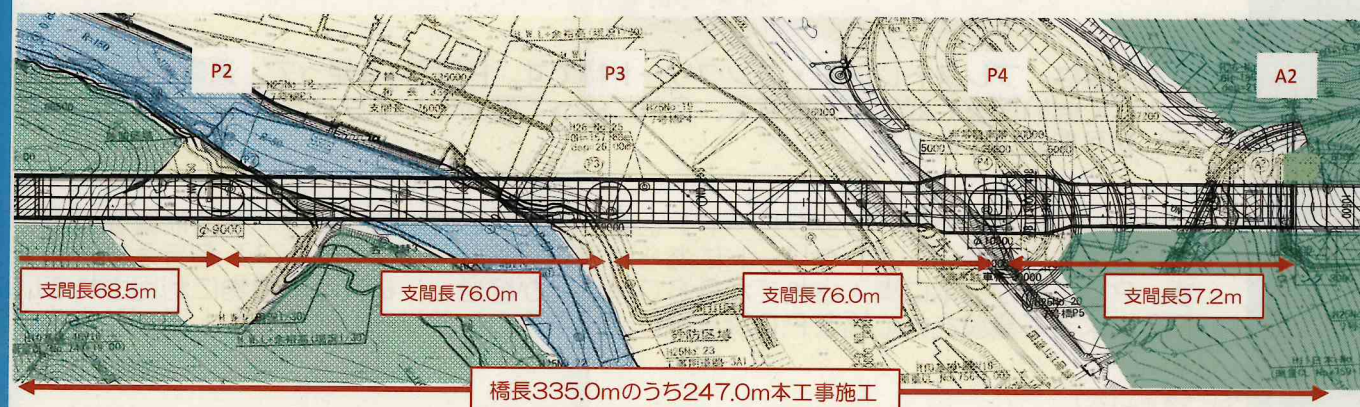
側面図

進捗率80.7% (R5.5末)

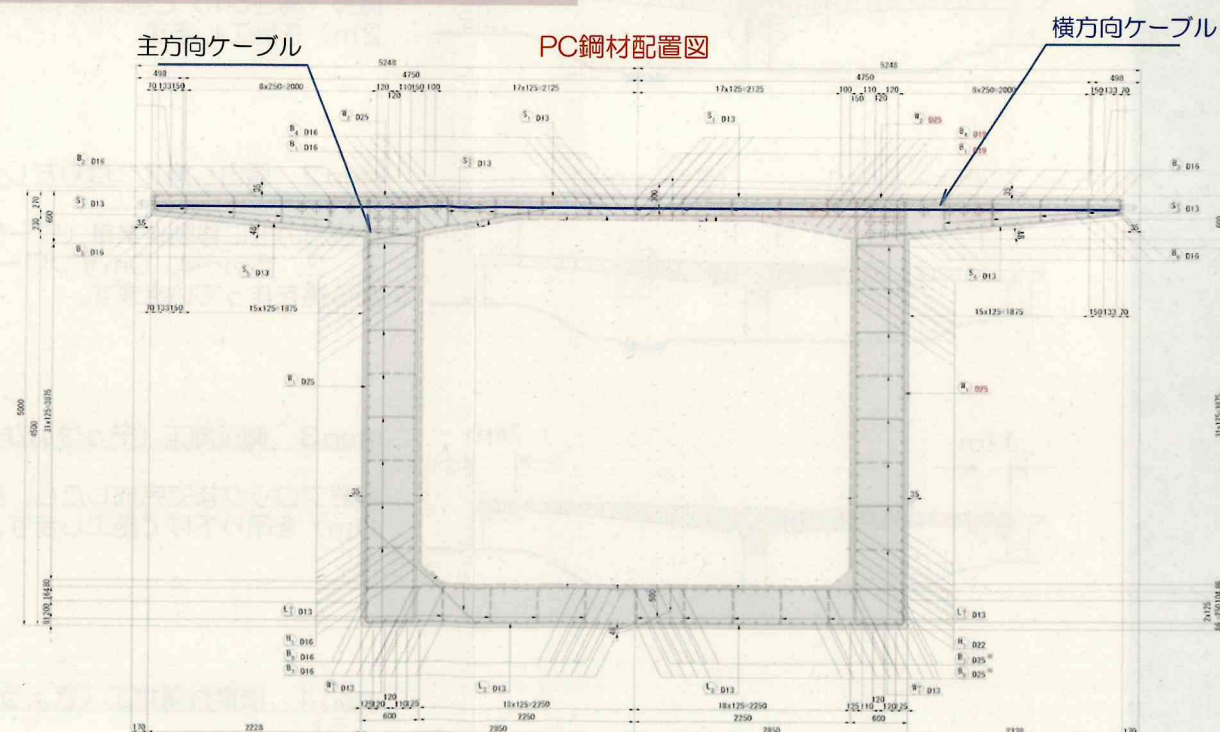


P3-P4: 閉合完了 P4-A2: 壁高欄施工

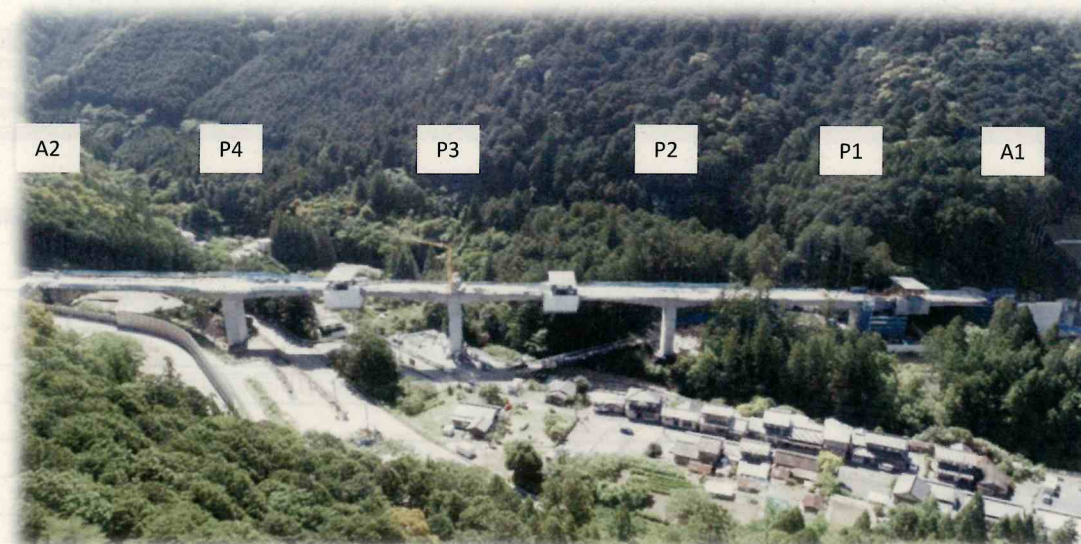
平面図



断面図



お問い合わせ先 080-2624-6926 監理技術者 長屋 和征
090-4795-0025 現場代理人 藤井 英樹
現場事務所 TEL 0536-29-9502 FAX 0536-29-9566



進捗R5.5月(全景)



進捗R5.5月 (P3張出施工中)

令和3年度 三遠道路7号橋PC上部工事



完成イメージ

快適な将来の交通環境を目指して

工事概要

工 事 名	令和3年度 三遠道路7号橋PC上部工事
工 事 場 所	愛知県新城市川合
工 期	令和3年10月11日～令和5年12月8日
発 注 者	国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所
受 注 者	株式会社 安部日鋼工業

工事内容

種 別	プレストレストコンクリート道路橋
上部構造形式	PC5径間連続ラーメン箱桁橋のうち3.5径間
橋 長	335.000mのうち247.000m
桁 長	334.500mのうち246.700m
支 間 長	54.700m+68.500m+76.000m+76.000m+76.000m+57.200m
全 幅 員	標準部10.156m 非常駐車帯部13.656m
有効幅員	標準部9.500m 非常駐車帯部13.000m
設計活荷重	B活荷重
斜 角	90° 00' 00"
平面線形	R=15000m～10000m
縦断勾配	i=2.500%
横断勾配	∇2.000%～∇2.000%

現場位置



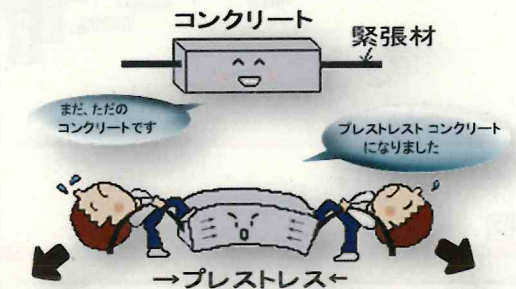
上部工の施工方法

本工事は、張り出し架設工法（カンチレバー工法）で施工します。ブラケット支保工による柱頭部の完了後、ワーゲンと呼ばれる移動作業車を組み立て、あらかじめ橋体に埋め込んでおいたPC鋼棒を使用してワーゲンを固定し、コンクリート打設毎にワーゲンを移動させ、鉄筋、型枠、PC鋼材の組み立てを行います。

下からの支保工を組み立てる必要がないため、長大橋を安全かつ経済的に施工できます。深い谷や河川上、交通の多い道路上に架設する場合、特に利点が発揮されます。



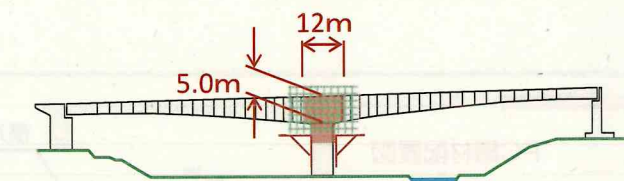
イメージ図



本工事は、プレストレスト・コンクリート橋です。PC鋼材を使って、通常の鉄筋コンクリートに比べて強い荷重に対抗する構造で、これによって鉄筋コンクリートよりも、長い支間長（スパン）を可能にしています。

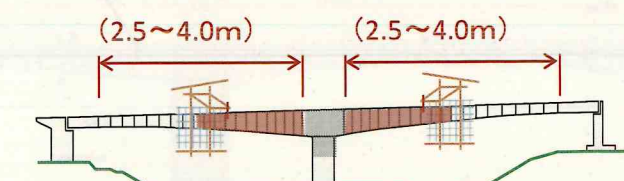
PC（プレストレストコンクリート）とは、引張力に弱いコンクリートの性質を克服するためにPC鋼材を緊張し、コンクリートにあらかじめ圧縮力（プレストレス）を与えておく方法です。PC工法が日本に導入されてから60年以上が経過し、様々な構造物に利用されています。PCによって建設された橋をPC橋と呼び、国内のコンクリート橋のほとんどがこのタイプです。

施工順序



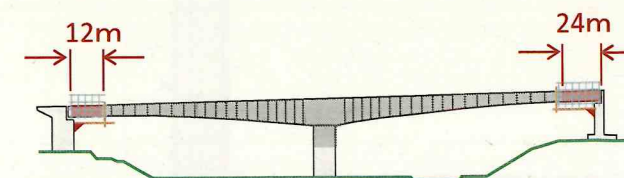
step1 脚頭部～柱頭部工（きゃくとうぶ～ちゅうとうぶこう）

橋脚（高さ5m）と橋の根本部分（高さ5m長さ12m）を施工します。



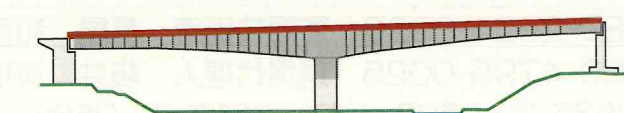
step2 張り出し施工（はりだしせこう）

柱頭部の上に移動作業車（ワーゲン）を組み立て、2.5m～4.0mずつワーゲンを移動させながら橋を作っていきます。



step3 側径間工（そっけいかんこう）

最終ブロックまで完成したら、残りの部分（約10m）を吊り下げて施工します。



step4 橋梁附属物工（きょうりょうぶぞくぶつこう）

橋が完成したら、壁高欄や排水管等の附属物の施工を行います。

ネイチャーセンターへのご案内



●バス
JR浜松駅北口
バスターミナル6番乗場より
「4中田島砂丘」行き
所要時間 約20分
「中田島砂丘」下車

●お車
東名浜松ICより
約10km 20分
(浜松IC～中田島交差点は約9km)
浜松駅より
約5km 10分

開館時間、休館日等は
お問い合わせ下さい。

サンクチュアリネイチャーセンター〔自然への窓口〕

1階

●インフォメーション

センター周辺や遠州灘海岸などの自然をご紹介します。自然観察会や環境保護、ボランティア活動のご案内も致します。図鑑や環境図書のコーナーもあります。

●販売コーナー

散策絵地図や環境図書、自然観察用品、ウミガメグッズなどを扱っています。環境負荷の少ない商品も販売しています。

●ティールーム

フェアトレードや有機栽培による食材などを使用した喫茶室。使い捨て品を極力排除し合成洗剤の不使用等を実践していきます。

2階

●ネイチャーギャラリー/自然教室

自然をテーマとした写真、イラスト展などを開催。スライド等を使った自然教室やネイチャークラフト教室なども行っています。

●サンクチュアリN.P.O.事務所

特定非営利活動法人サンクチュアリエヌピーオーの事務局及び、窓口です。

フィールド

●定例自然観察会

毎月、第3日曜日9:30から馬込川河口周辺の観察会を行います。双眼鏡や望遠鏡、図鑑などは当センターでご用意しています。お気軽にご参加下さい。

●自然観察会

浜松周辺の各地で観察会を開催します。当センターのインフォメーションのご案内しています。ご依頼があればレンジャー派遣、観察器具の貸し出しも致します。

●ウミガメ産卵調査/子ガメ放流会

ウミガメ産卵調査(6月～8月)、子ガメ放流会(8月中旬～9月)にもご参加頂けます。詳しくは当センター・インフォメーションのご案内しています。

※ 当館の収益金はすべてネイチャーセンターの運営や自然保護等に活用致します。

サンクチュアリ ジャパン

浜松市の馬込川河口にはアシ原や干潟など多様な自然が残っています。ここは野鳥たちの大切な棲息地でもあります。この貴重な環境を開発計画から守ろうと起こした市民運動(1984年)が団体の始まりです。

遠州灘ではそれまでほとんど知られていなかったアカウミガメの産卵を確認し、繁殖調査をスタート(1987年)。この頃から海岸にたくさんの車が乗り入れるようになり大きな環境問題を引き起こしました。砂浜で集団営巣する渡り鳥、コアジサシにも多数の被害が出ました。自然環境を守るため海岸への車両乗り入れ規制を各方面に働きかけてきました。

サンクチュアリジャパンでは野生生物の保護と併せ自然観察会や体験教室、ウミガメ講座、写真展の開催など様々な活動を行っています。子どもたちを対象としたジュニアレンジャー制度を発足させ環境教育にも力を入れています。かけがえのない自然を次の世代へと伝えていきたいと考えています。

開発をのがれた馬込川河口には、今も多く野鳥が集います。遠州灘に海浜植物が咲く季節、ウミガメやコアジサシの訪れと共にサンクチュアリジャパンは最も忙しいシーズンを迎えます。



コアジサシの親子(遠州灘海岸)

サンクチュアリ ジャパン入会案内

年会費 会費の納入は郵便振替「0860-6-66457」で

■正会員: 4,000円(中学生まで2,000円) ■賛助会員: 10,000円 ■法人会員: 100,000円
サンクチュアリジャパンは皆様の会費やご寄付によって運営されています。ぜひご支援下さい。会員には、自然やサンクチュアリの活動に関する情報を載せた会報(月刊)をお届けしています。

ジュニア
■Jr.レンジャー制度への参加[3～18歳]: 4,000円(サンクチュアリジャパン会費を含む)
自然観察会や調査、自然教室など、活動に計76回参加するとJr.レンジャーに認定されます。制度参加者や家族を対象とした研修やキャンプなど楽しい行事を企画しています。各自のペースで取り組んで頂けます。



お問い合わせはこちらへ

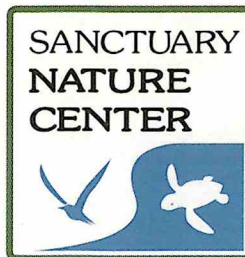
サンクチュアリ ジャパン

事務局 〒433-8123 静岡県 浜松市 中区 幸 2-17-9
TEL 053-475-6535 FAX 053-475-6548



サンクチュアリ N.P.O.

2000年、「特定非営利活動法人サンクチュアリエヌピーオー」がサンクチュアリジャパン会員有志により設立されました。サンクチュアリN.P.O.ではボランティア団体サンクチュアリジャパンをサポートすると共に活動拠点となるサンクチュアリ・ネイチャーセンターを管理運営しています。



サンクチュアリ ネイチャーセンター

特定非営利活動法人サンクチュアリ N.P.O.

〒430-0845 静岡県 浜松市 南区 中田島町 1672-3

TEL 053-444-5539 FAX 053-443-0904

テレフォンメッセージ TEL 053-475-6522

ホームページ <http://www.sanctuarynpo.jp/>

HAMAMATSU

SANCTUARY NATURE CENTER

SINCE 2001

遠州灘へようこそ
自然のすばらしさを伝えるために

ネイチャーセンター周辺マップ

